

# ちくちく通信

2012年 春～初夏

発行：ちくちくの会 (<http://chiku-chikunokai.jimdo.com/>)



平成24年4月末 現在  
会員45名で活動しています

21件の医療機関さまにお洋服・  
型紙を寄付しています  
(1月比 会員+3名、寄付先+5件)

## 交流会 ～報告とお知らせ～

### 【報告】 4月15日(日) 於 クレオ西部会館

今回は、4名の天使ママが参加してくださいました。  
お母さんのみの会を行うのは、はじめての試みでした。  
またいつもとは違った雰囲気の中、大切な時間を一緒に  
過ごせました。

### 【お知らせ】 7月22日(日) 於 クレオ西部会館

～縫い物をしながら、天使ちゃんの話を楽しませんか～

交流会を予定しています。

会員登録されている方で、お子様連れ、妊婦の方  
OKの会です。詳しくはHPをご覧ください、開催要項を  
ご確認の上、お申し込みください。

※参加人数に限りがあります

## これからの活動予定

7月7日(土) 8日(日) 京都で行われる

### 「第10回 あかちゃんこどもの死を考えるセミナー」

ちくちくの会は、今年もご案内をいただきました。  
ブース展示をする予定です。  
開催要項が届き次第、詳細はHPでお知らせします。



## 特別寄稿

### ～ロスクエアに関わる医療者の立場から～

今回、ちくちくの会がお世話になっている医療機関の方に、寄稿をお願いし快諾をいただきました。

私たち当事者が今後活動をしていくうえで、”医療者側から見た“グリーフケアへの取り組みについてのご意見をいただくことはとても貴重だと思っています。 お互いの理解を深め、これからも会の活動が広がっていくようにと願います。

#### 「 出 会 い と 別 れ 」

愛媛県立中央病院 臨床心理士 越智恭恵

総合病院の周産期センターで心理士として働いています。

ここ NICU では、小さく生まれた赤ちゃんや何らかの医療的ケアが必要になった赤ちゃんが入院して来られます。

その中には、治療の甲斐なく亡くなられ、悲しいお見送りをすることがあります。わが子の誕生という喜びとその死という悲しみを短期間の間で経験されるご両親の側で、医療的ケアのできない私たち心理士は、ただ寄り添うことしかできません。ですが、その NICU という空間の中で、ご両親がきちんと赤ちゃんに出会い、そして、別れの時間を過ごしていただけるよう支えていきたいと思っております。

そういう経験をされてきたお母さまたちの思いから生まれた「ちくちくの会」の存在は、私たち医療スタッフにとっても大きいと思います。一針一針思いを込めて縫ってくださった洋服からは、皆さんの気持ちが伝わってきます。私たち医療スタッフだけでなく、ちくちくの皆さんも後ろから そっとお母さまたちを支えて下さっているのですね。

ただ、「ちくちくの会」の皆さんもそれぞれがいろいろなお気持ちを抱えていらっしゃるかと思います。まだまだ悲しみの中に深くとどまっていたり、少し前向きに歩き始めた方、後からいらした方を支えていらっしゃる方。ちくちくという作業を共にする中で、悲しみを表現し、しっかり自分を見つめ、お互いを思いやることができればいいですね。

私たち医療にいる者たちと「ちくちくの会」の皆さんとは、立場は違いますが、願う気持ちは同じです。これからも、どうぞ、よろしくお願いいたします



## 天使ママからの声（第4回）

参加いただいている会員のみなさん、おひとりおひとりに大切な思いがあります。  
今回、第一子の娘さんを見送ったママさんにお話を伺いました。ありがとうございます

### 〈天使ママになった経緯とわが子への思い〉

2009年4月17日（39週4日）、第一子の女の子を普通分娩で出産しました。3,434gでした。  
元気な産声をあげてくれましたが、2時間後に急変し、総合病院へ搬送され死亡診断を受けました。  
（死亡の直接の原因：肺出血、肺出血の原因：不明、妊娠中の経過は順調でした。）

亡くなった翌日、総合病院に呼んで頂き、私と主人とで娘をお風呂に入れ、お洋服を着せて、写真を撮らせてもらうことができました。お風呂に入れているときは、悲しくてぼろぼろ涙が出たけど、わが子はなんてかわいいのだろうという気持ちがあふれてきました。お洋服は、自分たちで用意していた既製服を着せました。

娘を病院から連れて帰るときに、一人の看護師さんが「お母さんの思う通りにお見送りをさせてあげて下さい」と、何回も言って下さったので、家族みんながどうしたいか聞いてくれました。

お陰さまで、ほとんど後悔のないお見送りをすることができました。

### 〈会への参加へのきっかけ〉

ブログを通じて代表の長野さんにご縁がありました。ちくちくの会の活動をホームページなどで拝見しているうちに、私もお手伝いがしたいと思い、参加させて頂くことにしました。

### 〈活動に対する思い〉

少しの時間でしたが、娘と一緒に過ごした時間はかけがえのない、いとおしいものでした。  
そんな時間を過ごすためのお手伝いが少しでもできればうれしいです。

会に参加すると、天使ちゃん達のお話ができるのはもちろん、何かに打ち込んでおられる方が多いので、とても元気を頂けます。参加した翌日は心が軽くなっているのを感じます。これからもできるだけ参加させて頂きたいです。



## <生地選びやお洋服作りについて>



### <自分なりの取り組み>

黄色系の布は地味なものもあり、何かお洋服をかわいく見せることはできないだろうかと考え、市販の『ちくちくヨーヨープレート』というものを使用してハート形のチャームをつけることにしました。

### <現在の状況>

この度、新しい命を授かりました。安定期といわれる時期に入り、体調も落ち着いてきました。不安になる時もありますがなるべく考えないように、赤ちゃんを信じて、日々思いを込めて過ごしていきたいと思えます。

無事に生まれ、育ってくれますように。そう願うばかりです

お裁縫初心者なので、生地は縫いやすいダブルガーゼを使っています。もう少し慣れてきたらニット生地も使ってみたいです。

生地の色は黄色系を選ぶことが多いです。男女両方着られるし、娘をお見送りした時のお洋服が黄色だったので、やっぱり思い入れがあるのだと思います。

布をカットするときはピンキングハサミを使っています。ほつれにくいので、ぬいしろは三つ折りせずに布を折り返すだけにしています。アイロンがけも、縫うのもやりやすいです。



## 編集後記

ちくちく通信 2012 春～初夏号、お読みいただきましてありがとうございます。

ホームページも、みなさんご覧いただいておりますでしょうか？交流会の開催情報や、その他新着情報を随時更新しています。

3月からは、運営委員のつぶやきをブログ形式でアップしております。不定期更新ですが、ホームページをご覧の際は、ぜひお立ち寄りくださいませ。

ちくちく通信では、みなさんの投稿をどしどしお待ちしております。お声かけさせていただいたおりに、是非ご協力をお願いします。

季節の変わり目です。

みなさんお体を大切になさってくださいね。